

小委員会の調査報告書

教科名	技術・家庭	委員長名 <u>山本 以久子</u>
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(水)に、稚内総合文化センターで開催し、技術・家庭小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(木)から7月21日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月21日(火)に、稚内総合文化センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、教育図書、開隆堂の三者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各学科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1～2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他	<p>特に、記載事項はありません。</p>	

様式 2

教科名	技術・家庭(技術分野)		
	出版社名	教科書名	番号
	2・東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	技術・701
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>◎ 次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>○「A材料と加工の技術」において、身近な製品に関する技術の工夫について考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、生活上の不便さなどの問題を解決する製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「B生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、生物育成の技術のプラス面やマイナス面について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「Cエネルギー変換の技術」において、様々な発電方法に関する技術の工夫について考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、エネルギー変換の技術の最適化や燃料電池などの新しい技術の開発について多角的な視点から考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「D情報の技術」において、普段利用している情報について考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、情報機器の利用の便利な点と注意すべき点について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造する活動</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生産者の立場からよりよい栽培方法を考えたり、栽培の成果・課題を基に改善を図ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>◎内容の構成・排列について ・「技術分野の学習を見てみよう」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な内容が簡潔に示され扱いやすい。その後、技術の原理や仕組みを考え、身の回りに活用されている技術を評価する活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ・教室の机など身近な物を題材にするなど、中学生の興味・関心を高める工夫がなされている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○安全性や経済性など多角的な視点で技術を捉えることができる「最適化の窓」を示したり、学習を広げ、深めることができる資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各節の冒頭に考えたり、話し合ったりする「初めの活動」や学習した内容をまとめ、生活に生かすことができる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○思考ツールの活用方法を示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○全体的に、図やイラスト、写真が大きく掲載され、効果的かつ豊富である。色合いが明るく、優しい印象を受ける。</p>		
そ の 他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○総頁数は、291ページで前回とほぼ変わらない。</p> <p>○巻末に「プログラミング手帳」が掲載されており、学習したことを生かせるよう取り外して日常で使えるようになっている。</p>		

様式 2

<p>教科名</p>	<p>技術・家庭(技術分野)</p>		
	<p>出版社名</p>	<p>教科書名</p>	<p>番号</p>
	<p>6・教図</p>	<p>New技術・家庭 技術分野 明日を創造する</p>	<p>技術・702 技術・703</p>
<p>取扱内容、内容の構成・排列</p>	<p>◎ 次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>○「A材料と加工の技術」において、普段使っている製品の技術の工夫を考慮することを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、材料の特性を踏まえ、目的に合わせた加工法を用いた製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「B生物育成の技術」において、作物、家畜、水産生物などに共通する育てる技術を考慮することを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、生物育成の技術の果たす役割や影響などについてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「Cエネルギー変換の技術」において、生活や社会の中で利用されているエネルギー変換に関する技術を考慮することを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、エネルギー変換の技術の果たす役割や新たな技術の開発などについてまとめることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「D情報の技術」において、情報の技術がどのように使われているのか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、情報の技術の果たす役割についてまとめることを通して、情報の技術を工夫し創造する活動</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「生物育成の計画を立てよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、写真などを活用して育成記録をまとめたり、育成結果や工夫した点を発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>◎内容の構成・排列について 「学習内容への道案内」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習では、学習の入り口からゴールまでを図やイラスト等、豊富なチャートで示されている。その後、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を活用した実習などを行い、実習を通して技術の評価・活用について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>		
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○設計や計画を構想することができるワークシートを示したり、実習中に確認できる技能に関する資料を別冊にしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習の流れを明確にする「見つける」「学ぶ」「振り返る」の3つのステップや、単元の習得度合いを自ら確認し、振り返ることができる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書や別冊の使い方について説明するページを示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、重要語句を青太文字にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○全体的に、写真・イラスト、諸表などは、大きく見やすい。また、出典が明確である。</p>		
<p>その他</p>	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○総頁数は、327ページと前回より18%増(含別冊40ページ)となっている。</p> <p>○別冊「技術ハンドブック」に実習の基礎技能がまとめられており、実習作業で主体的活動を助けるように工夫されている。</p>		

様式 2

<p>教科名</p>	<p>技術・家庭(技術分野)</p>		
	<p>出版社名</p>	<p>教科書名</p>	<p>番号</p>
	<p>9・開隆堂</p>	<p>技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて</p>	<p>技術・704</p>
<p>取扱内容、内容の構成・排列</p>	<p>◎ 次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>○「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の工夫を調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、利便性や機能性を追求した製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「B生物育成の技術」において、夏野菜を一年中栽培することができる技術を調べることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、生物育成の技術の発展について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「Cエネルギー変換の技術」において、私たちの生活とエネルギーとの関わりについて考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、工場から排出される熱エネルギーなどの未利用エネルギーを有効に活用する技術について話し合うことを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造する活動</p> <p>○「D情報の技術」において、生活の中で情報に関する技術がどのように利用されているか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解する活動や、今後の生活に求められる情報の技術について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造する活動</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生活をよりよくする方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>◎内容の構成・排列について 「生活や社会における技術の役割」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習では、技術の見方・考え方を取り上げ、その後、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を活用した実習を行い、技術の適切な評価・活用について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。全体的に、専門的な内容が多く、設備が整っていれば指導しやすい構成になっている。</p>		
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○生徒の興味・関心を高めることができる写真やイラスト、図表、コラム等を各ページに示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各小項目の冒頭に授業の動機付けとなる「導入課題」や、学習を振り返り、学びを深めることができる「学習のまとめ」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインの書体にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○全体的に、落ち着いた色合いで統一されている。</p>		
<p>その他</p>	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○総頁数は、296ページで前回より10%増となっている。</p>		

<p>教科名</p>	<p>技術・家庭(家庭分野)</p>		
	<p>出版社名</p>	<p>教科書名</p>	<p>番号</p>
	<p>2・東書</p>	<p>新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して</p>	<p>家庭・701</p>
<p>取扱内容・内容の構成・排列</p>	<p>◎ 次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>○ 「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、相手の立場や役割を自分に置き換えて考える活動や、高齢者との関わり方を体験する活動</p> <p>○ 「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、バランスのよい献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「エプロン」や「ペットボトルカバー」などを製作する活動</p> <p>○ 「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費行動が環境に与える影響を考える活動</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会に与える影響を話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>◎内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容が位置づけられており、簡潔に示されている。「私たちの生活と家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域での協働を目指して」で中学生として地域の人々との関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のためのおやつを考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、家電製品の購入計画について話し合ったりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫がなされている。 ・BCAの順に掲載されており、衣食住の学習から家族・家庭生活へとつながるように配置されている。 ・イラストや図表が見やすく充実しており、中学生に分かりやすく指導しやすい構成になっている。 ・成分表が巻末に集約されている。 		
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く」「せいかつメモ」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習のまとめりごとに振り返る「まとめよう」や、学んだことを実生活につなげる「生活に生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○幼児の使う小物や食品の概量などの実物大写真が掲載されており、色合いが明るく見やすくなっている。また、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
<p>その他</p>	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○総頁数は291ページで前回より約5%増となっている。</p> <p>○巻末に「防災手帳」が掲載されており、日常的に使えるようになっている。</p>		

様式 2

教科名	技術・家庭(家庭分野)		
	出版社名	教科書名	番号
	6・教図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	家庭・702
取扱内容・内容の構成・排列	<p>◎ 次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>○「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考える活動や、高齢者の疑似体験をする活動</p> <p>○「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、中学生の1日分の献立を考える活動や、自然災害に備えた安全な住まいの整え方を考える活動</p> <p>○「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードによる買い物の仕組みについて理解を深める活動や、消費生活が環境に及ぼす影響を考える活動</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「私たちの消費生活」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、普段の生活において特に重要だと思う目標を考え、グループで話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>◎内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「家族・家庭の基本的な働き」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域の人々との協働のために」で地域の人々と協働する方法について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のおやつを工夫したり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新生活に必要な家電製品等についてレポートにまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫がなされている。 ・A B Cの順に掲載されており、家族・家庭生活とのつながりを意識して指導できる。中学生の興味を引くようなアニメなどを扱い、全体的に専門外でも指導しやすい構成になっている。 ・成分表は巻末ではなく、食物写真の近くに配置されており、扱いやすい。 		
使用上の配慮等	<p>○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習のまとめりごとに自己評価する「ふり返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○新生児の手形や身近な食品などの実物大写真が掲載されており、色合いが明るく見やすくなっている。また、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字が大きく重要語句は青太文字で示されている。</p> <p>○1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○総頁数は295ページで前回より約3%増となっている。</p>		

様式 2

教科名	技術・家庭(家庭分野)		
	出版社名	教科書名	番号
	9・開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	家庭・703
取扱内容、内容の構成・排列	<p>◎ 次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>○「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングを通して、家族の気持ちや立場を考える活動や、高齢者の歩行介助を体験する活動</p> <p>○「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、栄養のバランスのとれた1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「リバーシブルバッグ」や「クッションカバー」などを製作する活動</p> <p>○「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約のメリットやデメリットについて理解を深める活動や、消費者の行動が社会や環境に与える影響を考える活動</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について 「持続可能な社会」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>◎内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容が位置付けられており専門的である。「わたしの生活と家族・家庭」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「家庭生活と地域での活動」で家庭生活と地域との相互の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母が喜ぶ食事を考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新しい電化製品を購入するために、それぞれの特徴を比較しまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫がなされている。 ・ABCの順に掲載されており、家族・家庭生活とのつながりを意識して指導できる。 ・食物の成分表が巻末に集約されている。 		
使用上の配慮等	<p>○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習のまとめりに基礎・基本の定着を図る「ふり返り」や、学んだことを実生活につなげる「生活にいかそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○子どもの手形・足形や食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○写真・イラストなど、落ち着いた色合いで統一されている。</p>		
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○総頁数は、299ページで前回より8%増となっている。</p>		